

情報モラル研修10（2部）

ネット依存

やまぐち総合教育支援センター

情報モラル

情報モラル研修会を始めます。
テーマは「ネット依存」です。
（★）

研修のゴール

ネット依存の傾向にある児童生徒との信頼関係を築くための有効な言葉掛けを考える。

ネットに夢中になりすぎて日常生活に支障が出てきてしまう症状がネット依存です。そのため、自分自身だけではネット使用を止められず、使用時間をコントロールすることができません。

そんな中、家族が心配してかけた言葉を「嫌味か」と被害的にとらえたり、心を込めて真摯に伝えたつもりの言葉も「怒られた」と誤解されることもあります。

そこで、本研修のゴールは、『ネット依存の傾向にある児童生徒との信頼関係を築くための有効な言葉掛けを考える。』です。

(★)

研修の流れ

1. 「こんなとき、どんな声をかけますか？」
2. 「メッセージに直してみましょう。」
3. 指導のポイント

今回の研修の流れは、
ネット依存に関する具体的な場面において、どのような言葉掛けが子どもとの信頼関係を築くために有効なのかを体験してもらいます。
(★)

1. 「こんなとき、どんな声をかけますか？」

四つの場面について、ワークシートに記入してください。



食事中に
スマホを
離さない
子に



入浴中も
スマホを
離さない
子に



夜遅くま
でゲーム
をしている
子に



睡眠不足
な子に

この四つの場面について、みなさんは子どもにどんな声をかけますか。普段の様子を思い浮かべながら、ワークシートに記入してください。
終わりましたら、グループの中で、考えた言葉を発表し合ってください。

(★)

考えた言葉を、

「わたし」が主語になっている言葉と、
「あなた」が主語になっている言葉に
分けてみてください。

それでは、みなさんが考えた言葉を「わたし」が主語になっている言葉と「あなた」が主語になっている言葉に分けてみてください。
(※少し時間をとります。)

二つに分けた言葉について、何か気付いたことはありませんか。
(※何人かに発表してもらいます。)

(★)

- ・ 「わたし」が主語になっている言葉

Iメッセージ

- ・ 「あなた」が主語になっている言葉

YOUメッセージ

やまぐち総合教育支援センター

情報モラル

みなさんの考えた言葉は、どちらが多かったですか。

(★)「わたし」が主語になっている言葉を「Iメッセージ」、

(★)「あなた」が主語になっている言葉を「YOUメッセージ」と言います。

「Iメッセージ」はあくまでも自分の気持ちを相手に伝えているので、相手が受け入れやすい言葉です。これは自分が心を開いているので、相手も素直に受け入れてくれるのです。

「YOUメッセージ」は、あなたはこうあるべきだという断定的な響きと相手を責めるニュアンスが感じられ、反発をまねきやすい言葉です。

どうしても「YOUメッセージ」で言いたくなったら、「私は、・・・『YOUメッセージ』・・・こう感じた。あなたはどうか？」など一呼吸とっての「私は」ではじまる「Iメッセージ」の活用をしてみてください。

(★)

2. 「Iメッセージに直してみましょう。」

同じ場면을 **Iメッセージ**に直して、
ワークシートに記入してください。



食事中に
スマホを
離さない
子に



入浴中も
スマホを
離さない
子に



夜遅くま
でゲーム
をしてい
る子に



睡眠不足
な子に

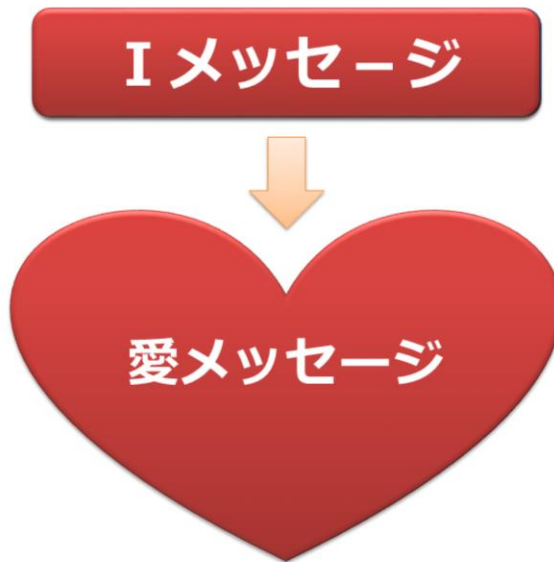
では、もう一度同じ場面について、Iメッセージに書き直して、ワークシートに記入して
みてください。

(★)

書き終わったら、
グループ内で、
考えた「Iメッセージ」を
発表し合ってください。

書き終わったら、グループ内で、みなさんの考えた「Iメッセージ」を発表し合ってください。
(★)

3. 指導のポイント



やまぐち総合教育支援センター

情報モラル

「あなたはネットばかりしていてダメだ」とか「あなたはまともな生活をしなさい」といった本人を責めるような言葉をかけても、反発されるだけです。

(★)それよりも「私はあなたを心配している」「私は早く良くなしてほしいと思ってる」といった「Iメッセージ」を心掛けることで、子どもとの対話が続き、信頼関係が築かれていきます。

(★)ぜひ、「Iメッセージ」で「愛」を伝えてあげてください。

(★)